



JKHDグループは創業75年を迎えました。 ご愛顧・ご支援を賜りました皆様に 心から感謝申し上げます。

JKHDグループの中核を担うジャパン建材も、本年4月より「おかげさまで創業75周年」を合言葉に、これまで全国のお客様に支えられて今日があることに心より感謝し、お客様により密着したきめ細かい営業活動をさせていただくことで、創業80年、さらに創業100年に向かって社員一同いっそうの努力を続け、常に前を向いて進み続けたいと考えております。

JKHDグループは、1937(昭和12)年に創業しましたが、戦時下の木材統制法によって創業間もなく廃業を強いられることになりました。それでも創業者・吉田猛の商売にかける情熱は潰えることなく、戦後すぐに丸吉ベニヤ板店を再開。1949年には個人商店を法人化「株式会社丸吉商店」を設立し、創業75年を迎える今日のJKHDグループのベースを創り上げました。

その後、時代の変化、業界を取り巻く社会・経済情勢が激変する中で危機的状況も経験しましたが、創業者、その後を継いだ現JKホールディングス会長吉田繁の陣頭指揮の下、全社員が力を合わせ、チャレンジ魂をもって困難な状況を打破することができました。その後も、住宅業界、合板建材業界は幾度も荒波や嵐に見舞われましたが、JKHDグループが今日あるのは、平素よりお世話になっております皆様の支えが大きな力になったからにはほかありません。

住宅建材・合板建材流通業界は、今また新たな転換点に立たされていますが、ジャパン建材は、業界の活性化と発展につながる問屋業としての使命を全うする弛みない努力と、住宅・合板建材市場のニーズの変化に応える新たな挑戦に、お客様・仕入先様と共に取り組んでまいります。

倍旧のご愛顧・ご支援を宜しく申し上げます。



100 80

JKホールディングスの歩み

- 2012 JKホールディングス100%出資の販売子会社 Rus Interra 営業開始
- 2011 株式会社ダイテックス完全子会社化
- 2010 JK木構造グループ「ティンバリス建築展」協賛
- 2009 南摩協力合板有限公司調印式
- 2008 新本社ビルで初の仕事始め式
- 2007 「緑の募金」取組み評価され、国土緑化推進機構より「地球環境保全の感謝状」
- 2006 三井物産林業を子会社化、物産に社名変更
- 2005 小岩井農場で新人植林研修
- 2004 新本社ビル(新木場タワー)竣工
- 2003 「創業70周年記念式典」新木場タワーで開催
- 2002 山陰ダイケンを子会社化
- 2001 JKホールディングス株式会社発足(10月1日)
- 2000 東海ダイケン(株)を吸収合併、名古屋営業所南として営業開始
- 1999 九紅産業を吸収合併、下関営業所として営業開始
- 1998 川奈研修センター開所式
- 1997 ジャパン建材(株)東証一部に上場
- 1996 コウダと合併
- 1995 ダンタニ建材と合併
- 1994 「創業65周年記念式典」
- 1993 江川ベニヤと合併
- 1992 「第1回ジャパン建材フェア」開催
- 1991 ティー・エム・シーと合併
- 1990 丸吉と興国ハウジング合併でジャパン建材(株)発足、吉田繁会長、中本敏宏社長就任
- 1989 (株)丸吉、東証二部に上場
- 1988 本社を江東区平野町の「木場パークビル」へ移転、業務開始
- 1987 (株)丸吉、日本証券業協会より店頭登録銘柄の指定を受ける
- 1986 資本金2億8,000万円、さらに3億3,500万円に増資
- 1985 「創業50周年記念式典」帝国ホテルで開催
- 1984 「第2次経営5カ年計画(1983年~1987年)開始
- 1983 吉田繁社長がグループ全社社長を兼任
- 1982 吉田繁会長、吉田繁社長就任
- 1981 「第1回まるよし市」(現「ジャパン建材フェア」)開催
- 1980 吉田繁代表取締役専務に就任、組織改革による事業部制導入
- 1979 株式会社丸吉に商号変更
- 1978 株式会社丸吉商店設立(資本金70万円)、ラワン合板販売開始
- 1977 「販売許可証」を得て丸吉ベニヤ板店営業再開
- 1976 木材統制法により強制廃業
- 1975 吉田猛が個人営業開始
- 1974 創業1937年(昭和12年)

創業75年

- 2012 「第25回ジャパン建材フェア」、3月11日の東日本大震災で中止、永久欠番とする
- 2011 ジャパン建材「FSC-CoC森林認証」取得
- 2010 ジャパン建材・東合交易合併
- 2009 ジャパン建材・伸英園子会社化
- 2008 ジャパン建材「D&J工法」プレス発表
- 2007 「JK木構造グループ」結成
- 2006 ジャパン建材沖縄(株)発足(現沖縄営業所)
- 2005 カナダ産SPF2x4製材の需要開拓開始
- 2004 東京中央営業所・新木場営業所、新木場新事務所に移転・営業開始
- 2003 国内全事業所で「ISO14001」認証取得
- 2002 日本パネフォームを子会社化
- 2001 営業本部管轄で木材部新設
- 2000 「第12回ジャパン建材フェア」に緑の募金自販機初出展
- 1999 災害被害時の取引先に対する支援体制構築
- 1998 沖縄出張所新設
- 1997 メーカー統合化端末システム「JKOS」本格稼働
- 1996 島根県山形で植林の新人社員研修開始
- 1995 上海事務所設立
- 1994 興隆商事を子会社化
- 1993 バンクーバー事業所開設
- 1992 全国各地で「丸吉会」発足
- 1991 大規模な構造改革(タテ割型からピラミッド型へ)、
- 1990 業務管理本部・営業管理本部・営業推進本部の3本部制に移行
- 1989 経理部門中心にコンピュータ化、ペーパレス化の1次改革
- 1988 住設機器中心の「総合カタログ」発行
- 1987 針葉樹合板販売を積極化、米国からの合板輸入も注視
- 1986 全母店にコンピュータ配置
- 1985 資本金1億5,000万円に増資
- 1984 経理事務の母店集方式開始
- 1983 「第1次経営5カ年計画(1979年~1983年)策定
- 1982 全国25店舗による販売体制確立
- 1981 「丸吉会」発足(現「ジャパン建材会」)
- 1980 住設機器部新設、販売拡張を模索
- 1979 長期経営計画策定(1970~1972年度)
- 1978 支店・営業所・出張所の整理・統合
- 1977 営業年度を毎年4月1日~翌年3月31日に変更
- 1976 資本金7,500万円に増資
- 1975 資本金4,000万円に増資
- 1974 資本金2,000万円に増資
- 1973 本社新館ビル(6階建て)落成
- 1972 資本金1,500万円に増資、業種別営業体制確立
- 1971 本社鉄骨4階建てビル竣工
- 1970 東京圏中心に販路拡大・会社知名度高めるため業態別集中営業、地方部新設



JK情報センター

平成 24 年度第 3 四半期 [10 月~12 月] 見通し

工務店様・販売店様での需要予測

平成 24 年度第 3 四半期 (10 月~12 月) に向けての需要予測がまとまった。昨年 3 月の東日本大震災直後、平成 23 年度第 1 四半期に工務店様、販売店様の仕事量の見通しポイントが瞬間的にプラスに転じた以降しばらくの間マイナスに陥っていたが、今回の調査で久しぶりにプラスポイントに転じる結果が表れた。

地域的には、まだ温度差はあるが、販売店段階では、北海道、東北、甲信越、中部、近畿、中国、四国、九州で、仕事量の見通しポイントは減少回答より増加回答の方が上回っている。全国的な仕事量見通しポイントは、工務店段階で第 2 四半期より、10.1 ポイントアップのプラス 0.2 ポイント、販売店段階では、11.3 ポイントアップのプラス 4.8 ポイントといずれも仕事量の増加予測が表れている。

経済対策として 2010 年 2 月以降金利優遇が設けられ一定の要件を満たす住宅については、フラット 35S として金利 1%引き下げ措置が講じられ、これによってフラット 35 の利用件数が大幅に増加したが、2011 年 9 月の申込み終了後は申請戸数も減少傾向だった。その後補正予算で金利優遇措置が復活し、新たにフラット 35S エコも登場し、史上最低金利とも言える 1.84%の金利でフラット 35 に再び注目が集まっている事や、復興需要もまだ本格的とは言えないものの、間違いなく住宅着工には、良い状況が表れていると言える。

また、消費税アップに向けての駆け込み需要を考えると今回の仕事量の増加傾向は住宅取得に向けて追い風が来ていることも感じられる。

主要メーカー様による販売予測

主要メーカー様による販売予測も販売店様・工務店様同様増加予測が表れている。合板、木質建材、窯業・断熱、住設機器とどれをとっても全て第 2 四半期 (7 月~9 月) の前期より良くなる事が回答されている。

特に窯業・断熱メーカーは、増加回答が 67.3%もあり、これは、東日本大震災以降、節電や省エネが国家的課題となった事もあり、2020 年までに次世代省エネ基準への適合、義務化が決定した事をうけての増加回答と思われる。

いずれにしても、ほとんどのメーカーが増加を予測しているという事は、工務店様、販売店様の仕事量増加を裏付けるものでもあり、10 月以降の秋需に期待したい。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合板	45.6	45.6	8.8
木質建材	60.1	36.1	3.8
窯業・断熱	67.3	29.8	2.9
住設機器	53.8	33.6	12.6

リフォームの現状

リフォームの仕事量の割合についてはグラフが示す通りあまり大きな変化は無いが、少しずつではあるが、新築よりもリフォームの割合が増加傾向にある事は、顕著に表れている。中古住宅流通やリフォーム市場の規模は未だ欧米諸国に比べて小さいが、首都圏の中古マンションの取引量が新築マンションを上回るようになるなど、中古住宅の流通は次第に拡大しつつあり、また、リフォームにより中古住宅の魅力を高める取組みも広がつつある。

今後国民の住生活の向上を図っていく為には、こうした既存の住宅ストックを最大限に活用することが重要となっている。また、長期優良住宅の法制化に際して指摘されたように、地球環境問題や資源制約の観点から「いいものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」すなわち良質な既存住宅を適切にメンテナンスし、必要に応じてリフォームし、多世代に渡り使っていくシステムを構築していく必要がある。(国交省)

施策の具体化により、新築中心の住宅市場からリフォームにより住宅ストックの品質・性能を高め、中古住宅流通により循環利用されるストック型住宅市場への転換を図り、国の新成長戦略に盛り込まれた 2020 年までの市場規模倍増という目標の実現を目指すものである。

調査の目的

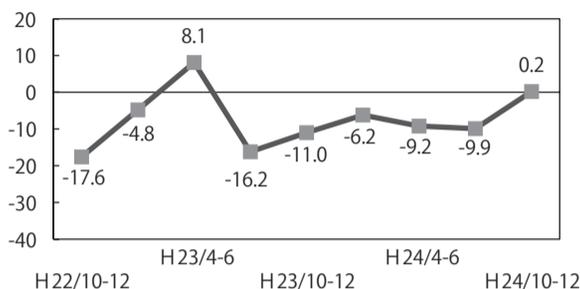
この調査は、ジャパン建材(株)のお取引先における販売動向及び、景況判断を把握し、今後の適切な販売指針に資することを目的として実施しました。

調査の時期と方法

この調査は平成 24 年 8 月中旬から下旬までを調査時点として、お取引先 3000 社に面接調査を行い回収したものを一括集計したものです。
※通商株式会社、株式会社ミトモク、物林株式会社にも調査依頼をしております。

●工務店様での景気動向の推移

過去 2 年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

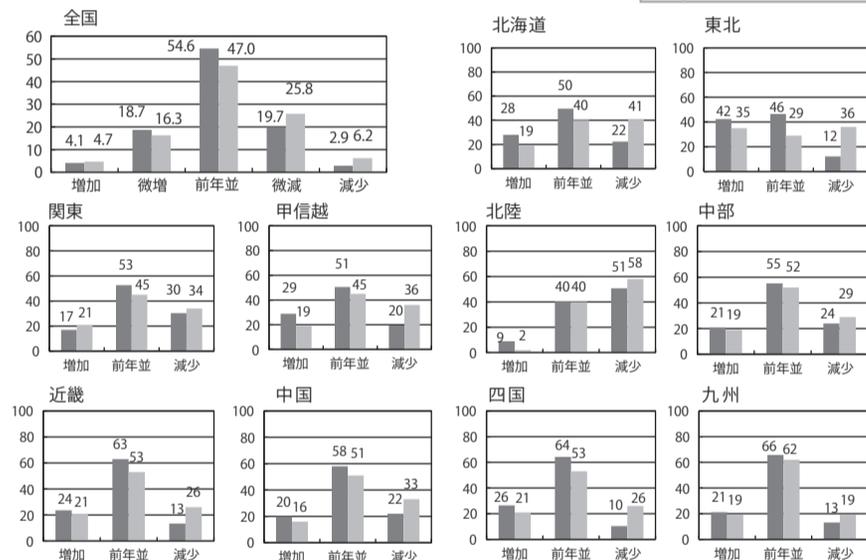


●工務店様での需要予測 全国 回答数 2,924

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

有効回答数			
北海道	143	中部	221
東北	321	近畿	305
関東	1,124	中国	150
甲信越	194	四国	87
北陸	67	九州	312

平成 24 年度 第 3 四半期 (黒色)
平成 23 年度 第 3 四半期 (灰色)



●最近の売れ筋商品 (全国)

キッチン

1位	ラクエラ
2位	クリンレディ
3位	アミィ

ユニットバス

1位	サザナ
2位	ラ・バス
3位	hairo

フローア

1位	Nクラレス
2位	フォレスティア
3位	Vフローア

外装材

1位	モエンM 14・W 14
2位	モエンエクセラード
3位	エクセラージ・セラディール

造作材

1位	R IIIシリーズ
2位	アトリア
3位	リビエ

Bulls

1位	接着剤
2位	キッチンパネル
3位	ケイカルブルズボード

トップ対談

株式会社シンツ

【会社概要】

本社 愛媛県松山市空港通 2-12-5
 会社設立 1928 (昭和 3) 年
 資本金 380 万円
 従業員数 68 名 (2012 年 3 月 1 日現在)
 年商 61 億円

創業は四国で一番古い天正年間、回船問屋に始まる。藩政時代には現在の宇和島市栄町港にあった新津藩所を管理し、その功績が認められて「新津」の屋号を与えられた。明治時代から大正時代にかけて 5 隻の貨物船を有し、朝鮮・台湾などへセメントを運び、帰りに米穀を移して交易を伸ばし、総合商社としての礎を築く。昭和 3 年に法人組織「合資会社新津商店」とし、新津重雄氏が初代代表

社員となる。昭和 15 年に新津三郎氏が二代目代表社員に就任。第二次世界大戦の統制経済下では休業を余儀なくされたが、戦後間もなく再開。戦後の復興需要や経済成長を背景に昭和 30 年代～50 年代に業容を拡大、事業の多角化を図る。平成 19 年合資会社を株式会社に組織変更して「株式会社シンツ」に、三代目代表社員の新津昌雄氏が代表取締役社長に就任、シンツグループの求心力を高める。



代表取締役
村上 高志 様
 むら かみ たかし

【プロフィール】

1954 (昭和 29) 年、宇和島市に生まれる。1977 年に新津商店入社、専務を経て平成 24 年に(株)シンツ四代目代表取締役社長に就任。四国一古く創業を誇るシンツグループの総合力を強みとする新しい時代に合った経営に取り組む。同時に合板建材流通業界の全国組織である日本合板商業組合四国支部長として、業界の活性化・発展にも注力する。

社業の発展に努力するだけでなく、住宅・建材流通業界にも寄与できる株式会社シンツでありたいと思います。

時代の変化を見据えて

大久保 天正年間という、信長や秀吉、家康が活躍していた時代でしょう。

村上 室町幕府が滅んだ 1573 年～1592 年が天正年間です。新津家の先祖は浅井家か六角家の武士で、天正の早い時期に姓を橋本と名のり、当時の回船問屋三間屋に婿養子に入り、そこから新津家の歴史が始まります。現在約 430 年です。

江戸時代に入って、宇和島藩は伊達家が治めるようになり、その御用商人をしながら宇和島の新港で荷物の受け渡しを管理する藩所役を務めていたことから「新津」の屋号を頂いたそうです。当社の宇和島本社は藩所があった場所で、今も伊達家とは密接な関係にあります。

大久保 四国一の老舗であるシンツさんとお取引させていただけるのは名誉なことです。

村上 米の回船問屋、戦後は砂糖・小麦を扱い始め、長い歴史の中で業態は時代と共に変化してきて、紆余曲折あったでしょうが、歴史を刻むことができていると思います。

大久保 今年 3 月 1 日に新津昌雄現会長からバトンを受け取られて約半年ですね。会社の歴史も凄いです、代々血脈で受け継いできた経営を今回初めて一族ではない村上社長に任せられた、これも凄いことだと思います。

村上 新津家以外の者が社長になる、今の実情に合った人にバトンタッチしているという新津会長の考えが根底にあって、平成 19 年に株式会社に組織変更し、私が社長になりやすい環境を計画的に整えていただきました。また、株主の皆さん満場一致で決めていただき非常に有難いと思っています。

大久保 新津会長の先々を見据えた英断があったということですね。

村上 はい。地方の企業ではありますが、これまで積み重ねてきたビジネスを更に発展させ、同時にこういう時代をいかに生きていくかという重責もありますが、同時に遣り甲斐も感じております。

新時代の構想を盛り込んだ社章

村上 平成 15 年に当社のシンボルマークとなる社章を新しく作りました。当時の社名は新津商店でしたが、会長は、このとき株式会社シンツの構想をもっていらしたそうです。

大久保 青い円は海でしょうか、その中に扇形が三つ描かれていますね。

村上 回船問屋としてスタートし、戦前は宇和島港から貨物船で活躍した歴史、その後、グループが多業種に広がり、そして 21 世紀に向けて成長・発展していく姿をイメージしたものです。ブルーの大きな円は宇和海＝地域社会、および世界を表し、三つの扇形は「シ・ン・ツ」のカタカナの形からイメージした「船」です。この 3 隻の「船団」はシンツグループを表し、イエローは石油類、グレーは

建材・セメント、グリーンは食品飼料と、幅広い業種に取組む株式会社シンツの主力商品を示し、船団が航海する姿に右肩上がり成長、発展しているという意気込みも盛り込まれています。

大久保 平成 15 年の段階で 21 世紀にグループのあるべき姿が示されていたということですね。



村上 先々を考えて準備をしていた会長は凄いですし、尊敬しています。

我々も、5 年先、10 年先をしっかりと見据えて進んでいきたいと思っています。

大久保 経営のお手本となる会長が傍にいらっしゃるのも心強いことですね。

村上 はい。商社機能もあり、製造部門もあるグループ全体を統括しながら、グループの力をいかに発揮できるかを考えながら仕事を確保していくことが私の役割だと思います。

変化にも強みを発揮する総合力

村上 グループ全体の年商は 100 億円ほどになります。その中でシンツはセメント・建材事業と、食品飼料事業を二本柱に据えています。以前は石油事業もシンツの一部門でしたが、熾烈な競争の中で別会社にし、スタンド経営も含めて年商約 10 億円で利益も出る体制にしました。

大久保 商圏は四国四県ですか。

村上 食品飼料事業は四国四県ですが、建材は商品の性質上愛媛県内、セメントは愛媛県を中心に千葉県から岡山県に至る広域で販売しています。

大久保 愛媛県内のダムやトンネル、四国の高速道路などの公共工事に生コンや土木資材を供給していますね。

村上 はい。将来は国内の大規模公共工事もお手伝いできればと思っています。

実は、宇和島地区は仕事が減る傾向にあるので私の社長就任を機に松山に本社を移しましたが、その直後に宇和島以南の地域を対象に 420 億円のインフラ整備の予算がつかまっていますね。

大久保 幸先の良いニュースですね。

村上 東日本大震災の津波災害を教訓に四国でも避難路の確保、避難場所としても利用できる高速道路整備の計画になっていますので、まだまだ仕事ができるということで社員のモチベーションに変化が現れています。

大久保 シンツさんの扱いはセメントやタイルなどの土建材から始まり、その後、木質建材を加えられたのですね。

村上 段谷産業さんの新建材を扱ったのが最初です。その縁でダンタニ建材さん、そしてジャパン建材さんになり、当社も販売力を伸ばさせていただいて総合力や愛媛県で力のある会社だと認めていただけるようになりました。

大久保 430 年間に培われた総合力ですからパワーが違いますよ。

村上 当グループは総合的なビジネスに取り組んでいく考えですが、自ら戸建注文住宅は受注しないという明確な線引きもしています。ですからグループの工事会社 2 社は、屋根工事や窓取付けなど工務店様の工事のお手伝いはしますが、決して邪魔になることはしないというスタンスを明確にして安心してお取引いただけるようにしています。



大久保 そういうメリットを感じてお取引いただけるのが一番ですね。

「企業は人」を痛感

大久保 社長に就任されて特に力を入れていらっしゃるのはどんなことですか。

村上 従来はシンツグループ 12 社がそれぞれに頑張ってきました。それを束ねてグループの総合力を強みに頑張っていくようにしようと、従来の宇和島と松山の拠点別だった経営体制から脱して事業部制に変えました。

大久保 セメント・建材事業部と、食品飼料事業部ごとの経営体制にされたということですね。

村上 そうです。今は高速道路を使えば広範囲に動けますので、事業部制にすることで地域の垣根を取り払い、事業部内での人の異動を自由にして稼げるころへ集中的に人を配置できるようにし、愛媛県全体の営業システムで動かしています。併せて営業政策も事業部単位で決めていくことにしました。

大久保 生産性がグンと上がりますね。

村上 同時に私が事業部長に下した案件が事業部全体にスムーズに浸透するトップダウンの組織を実現させました。

大久保 何事にも迅速に対応できる体制にされたということですね。

村上 同時に事業部長をシンツ本体の常務取締役にして取締役会で発言ができる立場に置き、トップダウンとボトムアップの双方向の仕組みにしました。間違っても良いから、社員からいろいろな提案が出せる、そこから活気も湧いてくると思います。

大久保 積極的に提案が出せる雰囲気づくりも大事でしょうね。

村上 最近はどんどん提案が出てくるようになり、良い傾向にあります。

大久保 社長がどんなに頑張っても、一人の力には自ずと限界があります。

村上 社長になって営業をする時間も当然少なくなりましたし、事業部長はじめ部下に頑張ってもらうことが何よりも大事だということ、「企業は人」というのを改めて痛感しています。

大久保 それは私も常々感じていること

です。やはり「企業は人」ですから、部下のやる気をいかに引き出すか、同時に人を育てる環境づくりも社長の大事な役目だろうと思います。

村上 私が社長に就任したことによって、今までは専務だった社員の目標が、社長にもなれるという大きな目標ができていくと思います。しばらく景気の低迷が続く、思うように人を採用できませんでしたので、若い優秀な人を入れながら次の時代を担ってくれる人を育てていかなければいけない、と思っています。

建材業界の活性化＝人口対策

大久保 新築住宅需要が伸びるのは難しいですが、住宅リフォーム、増改築は徐々に伸びてきていますね。

村上 これからはリフォーム・中古住宅が中心になっていくでしょうね。四国でも県庁所在地ではマンション・中古住宅に目を向けていかなければいけないと思います。また、消費税率 UP 前の駆け込み需要が出てくると、反動が心配ですね。

大久保 駆け込み需要に合わせてしまうと、その後の縮小が大変になることは過去にも経験しましたので、用心しなければいけませんね。

村上 そういう意味では、政府の景気対策は、緩やかに長く続けてもらいたいですね。同時に若い人が安心して子供を育てて育てるような支援をしてもらいたいものです。それが国力維持につながり、経済の減退を起こさない一番のポイントだろうと思います。

大久保 社長の仰るとおりです。

村上 一方では TTP や FTA など日本を巡る状況は自由化へと動いていくと思いますが、住宅に関しても窓が単板ガラスからペアガラス、さらにトリプルペア (三層) ガラスになってきています。

大久保 住宅の省エネ化・エコ化はどんどん加速していますね。

村上 住宅内のエネルギー消費を管理する HEMS (ヘムス) の仕組みも国内の技術力を生かしていくことになると思いますが、こうした付加価値を国内の技術によって進め、世界から「さすがに日本の住宅は違うな」と言われるようにしていきたいですね。

私が四国支部長を務めています日本合板商業組合では、経済産業省や国土交通省、林野庁など国の出先機関にももの言える体制づくりを目指して会勢強化を進めていますが、我々もそういう組織力を強めていきたいと思っています。来年 5 月には全国から四国に会員が集まる総会も開かれますので、四国地区で参加していただく会社を倍増して、政府に対しても業界としてお願いする取り組みも進めていきたいと思っています。

大久保 業界のためになることには我々も積極的に取り組んで参りますので、何なりと仰ってください。

本日は多岐にわたるお話を聞かせていただきありがとうございました。

28th ジャパン建材フェアに見る注目度ダントツは リノベーションのニーズに応える商品

短い工期・マンションのリノベーション用に開発された「システムバス」

中古マンションや中古住宅を購入してリノベーションで自分たちのライフスタイルに合わせて快適に暮らそうという新しいタイプの住宅取得者が登場し、住宅取得者の立場からリノベーションをサポートする仲介会社も台頭している。単に老朽化や不具合を改善するだけでなく、より快適な住まいにするため

のリノベーションのが求められる傾向にある。そうしたニーズを想定して開発されたLIXILシステムバス『リノビオV』は、快適性・省エネ性・汚れにくく掃除がしやすいなど施主様が求める機能だけでなく、搬入・配管接続・床設置のしやすさなど施工性も追及して工期短縮を実現している。



天然木のナチュラル感を生かした 高性能の「木質系フローリング」

本物志向・自然志向が高まり、ムク材への憧れも強い。だが、実際に使うとなると、反り・ねじれ、メンテナンスに手間がかかるなどの問題が生じる。そこでメーカー各社は、木肌本来の感触や、樹種独特の木目の美しさ、表情を再現するために独自技術を駆使して、ムク材に勝る製品開発に力を注いでいる。

朝日ウッドテック『ライブナチュラル プレミアム』は、表面化粧材に独自開発の「木味活性化技術」によって木の美しさ素材感を保つ2mm厚のムク挽き板を使用、かつ複合フローリングの高機能性を兼ね備え、寸法安定性も高い。

ワンランク UP の使いやすさ+美しさ、 ゆったり感にひたれる「システムバス」

お湯の出し止めが上面からも正面からも操作できる。浴槽への移動や立ち座りの動作を楽にするベンチカウンターや握りやすい背当て兼用サポートバーを採用。4時間後の温度低下を2.5℃以内に抑える。水の勢いを損なわずに節水できるシャワー。TOTOのシステムバス新『サザナ』は、使い勝手の良さとエコ機能搭載、さらに家族構成・趣味嗜好に併せて選べる複数の浴槽デザインをラインナップするなど、施主様への提案力UPに一役買う。

身近な木の美しさと味わいの「内装材」

今まで使えなかった樹種をWPC加工に代表される独自技術で表面化粧材にした大建工業『日本の樹シリーズ』。古くから日本人に親しまれ、日本文化・暮らしを育んできた独特の色合いをもつ銀杏・鬼胡桃・沢胡桃・杉・栗・栃を床・ドア・収納・造作に利用して国産材活用に貢献。



天井から暮らしを変える 「天井材」

一般的な住宅ではあまり意識されない天井だが、ここに優れた吸音性能のある天井材を使うと、音の無駄な響きを抑えることができる。大建工業『リビングトーンシリーズ』は、リビングでの会話が聞き取りやすくなり、特に高齢者が聞き取りにくいTV音が聞き取りやすくなる。また、赤ちゃんの泣き声や、子供のはしゃぐ声、室内犬の音が響くなどの悩みも解消。生活音の響きを和らげ、音を聞き取りやすくする。音環境の改善という新しいリノベーション提案の切り口もある。

玄関が1日で生まれ変わる 「ドアリフォーム」

窓のリフォームは住宅エコポイント効果もあって広く普及したが、玄関扉はまだこれから。LIXILの「リシェント玄関ドア」は、壁を壊さない簡単取付けで玄関のリフォームを1日で終らせることができる。古くなった玄関を取り替えることで住まいの表情がリフレッシュされ、最新機能で玄関が快適な空間に変身する。もちろん防犯性能もUPし、採風タイプなら玄関を閉めたまま風を取り込むことができ、断熱仕様なら冷暖房効率UP・省エネ・冷暖房費の節約にもつながる。玄関ドアの他に玄関引戸・勝手口ドアもある。

ジャパン建材 木材・プレカット部 木材課

国産の木材製品から、海外からの木材製品まで、多種多様な構造材・羽柄材、森林認証製品を取り揃えて、個性的な住まいづくりをお手伝いします！

2×4工法に限らず、在来軸組工法にも使われ、日本の木造建築に欠かせない存在となっている SPF (スプルース・パイン・ファー) 製材。なかでもカナダは、一体的な森林管理体制のもと継続的な針葉樹資源蓄積を進めています。今回ご案内する SPF 製材工場は、「軽い」「強靱」「寸法精度が高い」など優れた特性をもつカナダ SPF のランダムレングス供給を行っているダンクレー社の SPF 製材工場です。

SPF 製材工場 (ランダムレングス) ご案内

Dunkley Lumber LTD. 【ダンクレー】

〈工場概要〉

- ◆カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 ヒクソン (プリンスジョージとケネルの中間) で 1951 年開業。
- ◆生産キャパシティー：580,000,000FBM / 年 = 約 90 万 m³程で、現状は 70% 操業をしています。
- ◆日本向けは生産量の 10% 前後。

〈供給内容〉

近年、パインビートルの被害の影響で LPP 被害木を投入する工場が多い中、Dunkley はいち早くその状況を脱し、現状の樹種構成は右記のようになっています。

Spruce (スプルース) 50%
LPP (ロジポールパイン) 30%
Bal (バルサムファー) 15%
Other (D.Fir: ダグラスファー) 5%



ダンクレー SPF 製材工場は、カーブソー、オプティカルグレーディングシステム、カット 2 レングスシステム等々、最新設備の大型工場です。

「スマートハウス」について

8月24日・25日に東京ビッグサイトにて開催した第28回ジャパン建材フェアで、今回初めての試みである「スマートハウスコーナー」を設置。スマートハウス市場を牽引する5社の特徴それぞれを並べて展示しました。第28回ジャパン建材フェア以降、お問い合わせも大幅に増え、「スマートハウス」というものに関心があったことなども体感しています。

展示にご協力頂いた5社は京セラ、シャープ、ダイキン工業 (NEC)、東芝ライテック、パナソニック エコソリューションズ (50音順、敬称略)。各社それぞれに特徴があり、今後の展開も含めた展示内容となりました。

●「スマートハウス」関連商品のリリースが相次ぐ

- ◆パナソニックは、新機種「AiSEG (アイセグ) を「スマート HEMS」という形でリリース (※商標パナソニックグループ、2012 / 10 / 21 発売開始予定)。

概要：大きな特徴は5つあり、「エネルギーの見える化」「エアコン自動制御」「余剰電力で湧き増し」「ピーク制御」「スマートフォンをリモコンに」を謳って紹介している。

パナソニックには「AiSEG」以外にも「ECO マネシステム」という HEMS 商材や、太陽電池と蓄電池を組み合わせた「創蓄連携システム」もある。

※パナソニック HP 参照、詳細はパナソニック HP へ

- ◆東芝も新商材をリリース、定置式家庭用蓄電システム「エネゲーン」を発売。

概要：急速フル充電を可能とし、蓄電システムとして業界初となる「ECHONET Lite™ (エコーネットライト)」に対応した機種もラインアップ。これにより、東芝の HEMS 商品である「フェミニティ」と接続可能となり、運転状態や充電量をスマートフォンから見る事が出来る。

販売目標は今後1年間で12,000台である。 ※東芝 HP 参照、詳細は東芝 HP へ

- ◆ダイキン工業は、NEC の HEMS 商材と蓄電池に自社のエアコン等を組み合わせたスマートハウスの提案ができる (これらを組み合わせた展示パネルを作成し、今回の展示会でも使用)。

概要：ダイキン工業が対応窓口となることで、ワンストップでスマートハウス関連商材を提案できるのが強みである。

その他メーカーも今後様々なスマートハウス関連商品を出していくことが予想され、ジャパン建材もこれに順次対応していきます。また、「スマートハウス」だけでなく、今後のリフォーム市場の拡大や低炭素社会も見据えて対応していきます。

業 INDEX 界

(株)キーテック、LVL 『キーラム』による新しい木質系構造材料を続々と市場に投入

(株)キーテックは、LVL 『キーラム』* の生産をいち早くスタートさせ、新しい木質系構造材料の開発に積極的に取り組み、すでに『キーラムメガビーム』『キーラム SS パネル』『キーラム木層ウォール』を商品化。公共建築物・住宅・商業用建築等の木造化・木質化を実現する際に問題点になっている大空間用の床・天井部材の軽量化・コストダウンなどを同時に図れる部材として提案している。

*LVL 『キーラム』とは

LVL は Laminated Veneer Lumber (単板積層材) の略称で、木材の単板を繊維方向に揃えて積み重ねて接着した木質材料。LVL 『キーラム』は(株)キーテックが製造するオリジナル LVL の名称で、木造建築物における高強度・高品質の構造用木質材料であり、製材として使いづらいたり、曲がりがある原木から生産される環境配慮型のエンジニアードウッドでもある。

建物を木造化・木質化する際の問題点を克服 大空間用の床・天井部材の軽量化・コストダウンを実現した キーテックの新しい木質系構造材料



◆キーラムメガビーム (KEYLAM MEGA BEAM)

LVL でウェブとフランジを構成した合わせ梁の一種。用途は、軸組構法・枠組壁工法の床根太・垂木だが、鉄骨造・RC 造用部材としての用途もある。鉄骨梁と同様に貫通部を設けられる、一般的な住宅の換気システムで使う配管用の穴 (220 φまで) も設けられる。



◆キーラム SS パネル (KEYLAM Stressed Skin PANEL)

LVL でウェブとスキンを構成する構造用部材であるストレススキンパネルの一種。用途は、鉄骨造・RC 造の床・天井用構造部材としての使用を提案。



◆キーラム木層ウォール (KEYLAM Wooden Wall)

自然の木が本来持つ性能を生かし、LVL に厚みをもたせることで、構造性能、耐火性能を満たす新しい木質外壁構造材。さらに LVL 独特の木の表情をそのままインテリアに表して使用することも可能で、内装仕上げ材としての機能も付加した複合的な性能を持つ木質部材である。

KEYLAM メガビーム I形 LVL 梁材



最大 **12 m**
ロングスパンに対応
(ただし最大スパンには必要な条件があります。お問い合わせください。)

高い曲げ剛性
配管用穴あけ可能

KEYTEC 株式会社キーテック
お問い合わせ 03-5534-3741 <http://www.key-tec.co.jp>
本社・〒136-0082 東京都江東区新木場 1-7-22 新木場タワー 8 F

SIMAUMA Collection アイデア収納特集

発見いっぱい!

POWDER ROOM

限られたスペースに家族みんなのモノがある洗面室まわりは、収納の難問場所です。

洗濯機上に棚をつけよう!!



オーダーメイド対応「洗濯機上収納」

ジャンボサイズの洗剤、しまい場所がなくて...

ドラム式洗濯機でも設置OK
デッドスペースになりがちな洗濯機上にぴったりサイズの収納を計画すると便利です。

“オーダーメイド”シマウマ洗濯機上収納 BS-SA01
¥31,500(税込) 参考価格
W:800×H:1000×D:300mm
P83

可動棚板 3枚セット

ちよいしハイブ付き

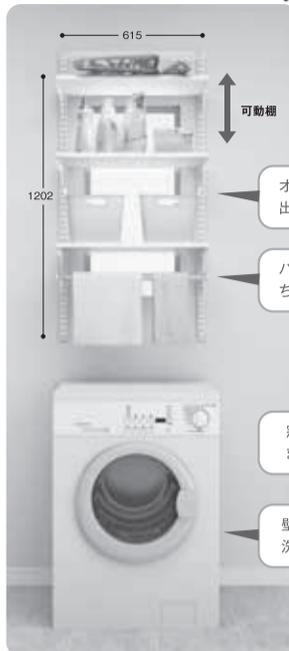
パイプがあるとちよと干すのに便利

どんな幅でも高さでもオーダーできます



※掲載の写真は棚柱仕様ですが、実際はダボ仕様です。

オーダーメイド製品は、確認図面へのお客様承認印受領をもって受注します。表示の価格は参考価格です。価格は仕様・寸法によって異なります。ご注文の場合は、弊社もしくはお近くの販売店にご相談下さい。



洗濯機の上、窓があって棚がつけられない...

窓があってもOKな「洗濯機上収納」

お手入れしやすい点も特長です
窓があっても設置できるタイプもラインナップ。下段の棚下にはパイプ付きでハンガーやタオルかけに利用OK。

オープン棚なので出し入れもラクラク

パイプがあるとちよと干すのに便利

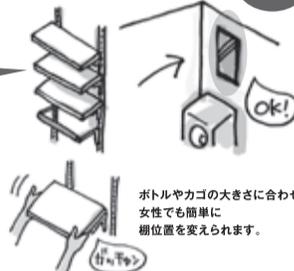
窓があってもまたいで設置可能

壁に設置するので洗濯機足元スッキリ

シマウマ洗濯機上収納棚 BS-UNPF
¥49,350(税込)
W:615×H:1202×D:315mm
P84

可動棚板 3枚セット

ちよいしハイブ付き



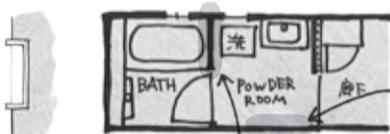
ボトルやカゴの大きさに合わせて女性でも簡単に棚位置を変えられます。

タオルやコスメが増えてもうパンパン

洗面室は埋込式でスッキリ「壁収納」!

「壁収納」なら圧迫感なく収納力が高まります

広さのない洗面室でも、壁に埋込収納棚なら、工夫次第で片付けにくいドライヤー、リネン類をすっきり収納できます。



トイレカゴの収納もつきたい!!

このかべ埋込収納いい!



スッキリオープンタイプ

可動棚

349

132

900

ちょっとした場所に収納アイデア!

シマウマ洗面壁収納(ワイドタイプ) BSAW31WF-13
¥14,700(税込)
W:349×H:900×D:132mm

可動棚板2枚
固定棚1枚
(真ん中は固定)



家族で毎日使う歯ブラシなどはオープン棚が楽チン

タオルかけ付きタイプ

280

700

ティッシュ箱飛び出し防止バー付き

シマウマ洗面壁収納(ショートタイプ) SOT
¥8,400(税込)
W:280×H:700×D:123mm

ティッシュ小物タイプ

280

850

1200

タオルたっぷり収納

シマウマ洗面壁収納(ショートタイプ) SOR
¥9,975(税込)
W:280×H:850×D:123mm



転落防止バー付き小物入れ

370

850

1200

シマウマ洗面壁収納(ショートタイプ) SOB
¥13,125(税込)
W:280×H:1200×D:123mm



背の高いトールタイプ

扉付きでスッキリ

370

850

1200

シマウマ洗面壁収納(ショートタイプ) SORW
¥13,125(税込)
W:370×H:850×D:123mm



背の高いトールタイプ

扉付きでスッキリ

370

850

1200

2305

310

730

下部はオープンなので濡れたモノも掛けておけます!

地震などで揺れても扉をロックするロックラッチ付

可動棚板 3枚セット

壁埋込&置き家具両方OK

パイプ 3本セット

シマウマ洗面壁収納(トールタイプ) BS-UNPF
¥50,400(税込)
W:730×H:2305×D:310mm

可動棚板 3枚セット

壁埋込&置き家具両方OK

パイプ 3本セット

28thJK フェアで大きな反響 実物を見て多数の商品をお買い上げ頂き、新規採用等のお声も多数頂きました。

◆ Bulls 商品

新築でもリフォームでも高いパフォーマンスを発揮し、日々進化を続ける Bulls 商品。中でも今回特に反響の大きかったのは、充実した基礎資材群、アスファルトシングル屋根材『パルテ』、糊・釘不要の床材『パワーデコ』、シートフロアー『ハイバージオ』でした。



◆ 収納アイデアが好評

「シマウマ・コレクション」

リビング・エントランス・水廻り等の住空間を演出し、収納提案の重要性とお悩みを解決するアイデア商品が好評を得ました。



Bulls ブルズハイブリッドデッキ

硬く傷つきにくく、水や腐食せず 熱や色褪せに強いタフなデッキ材です。



ブルズハイブリッドデッキは木粉や、高純度のポリエチレン素材、高品質な無機顔料を使用した高性能デッキ材です。

- 1 硬く、傷つきにくく丈夫**
高密度で高品質な再生木材と、高純度のプラスチック樹脂により、非常に高い強度を備えており、傷つきにくく反りや歪みが生じにくいデッキ材です。
- 2 水や腐食に強い**
素材の密度が高いため、吸水率も低く水に強いので、腐ったり虫の害を受けることがなく耐久性に優れています。
- 3 熱や色褪せに強い**
紫外線防止加工が施されていますので、太陽による有害な退色を軽減します。また、太陽熱の吸収を最小限にする材料を使用しており、暑い日中でもデッキの熱吸収が抑えられます。
- 4 メンテナンス不要**
傷つきにくく、腐らず、高耐候性デッキのため、従来のウッドデッキのように定期的なメンテナンスは不要です。そのため、森林保護、CO2問題など、環境保全に貢献できます。

新色追加、収納力強化 ホーローシステムキッチン『レミュー』

タカラスタンダード 株式会社

機能性とデザイン性で好評の最高級ホーローシステムキッチン『レミュー』に新たな扉カラー3色が追加された。同時に収納のバリエーションも充実し、より幅広いお客様のニーズに対応。

【高級感あふれる新色追加】

高品位ホーローの美しい光沢に自然なウッド調の風合いを組み合わせた「ウッドブラウン」「ウッドホワイト」、シックな空間にもマッチする「ロッシュパールネイビー」の3色を追加。全10色のカラーバリエーションが揃った。

【収納バリエーションも充実】

- 「かくせるホーローボックス」
- ・引出し扉の裏に、よく使うまな板やラップ、

クッキングペーパーなど、散らかりやすい物の整理整頓に便利な収納ボックスを採用。

- ・収納スペースを無駄なくスッキリと使用可能。
- 「フロントポケット」
- ・今まで使われていなかったシンクの手前側を収納スペースとして有効活用。
- ・ハサミやピーラーなど手元にあると便利な小物を収納でき、作業効率がアップ。

【キッチンワークの負担を軽減】

- しっかり握れて扉が開閉しやすい大型ハンドル引手をオプションで用意。力の弱い年輩の方でも楽に扉を開閉することができる。
- 足元スライド収納の手掛かり位置を手の届き



レミュー「I型間口255cm 足元スライドタイプ(ウッドホワイト)」
施工例イメージ

やすい高さへ改善し、体への負担が少なく、より楽な姿勢で作業を行うことができる。

【希望小売価格(税抜き)】

- 「レミュー」I型プラン
間口255cm 扉タイプの場合：¥519,000
※価格は水栓・加熱機器・レンジフードなどを含む。

床暖房と健康志向に最適 『ダイヤバンブーフローリング無垢』

ダイヤ扶桑 株式会社

竹はその昔より「竹取物語」にも描かれ、かぐや姫が竹の中から生まれたという物語は、ほとんどの方に知られている。

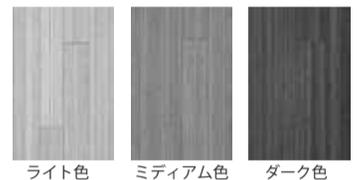
竹は茎が空洞であることや、成長の急激さを神聖視され、竹取の翁が富み栄えたという、とても縁起の良い話であり、今現在でも竹は神聖な場所や、縁起の良い表現の一つとして使われ、普段の生活にも密着している素材の一つである。

『ダイヤバンブー』は、この素晴らしい竹の特性(環境・健康に良い素材・消臭・抗菌・鮮度保持効果・熱伝導が早く床暖房の仕上げ材に最適)を活かし、フローリング及び内装建材として開発された。

【ダイヤバンブーの特性】

- 環境に良い
4～5年で成長し自然環境保護に役立つ。
- 健康に良い
竹は古くから優れた消臭・抗菌・鮮度保持効果を持つ植物として知られ、ぜんそくやアトピー体質の方に効果があるともいわれている。抗菌効果・消臭効果に一層威力を発揮できるように、特殊な加工で処理している。
- 床暖房最適品
ハイグレードな孟宗竹を使い、熱による変形・反り・伸縮などを抑制し、暖房の立ち上げもとても早いです。(東京ガス・大阪ガス・東邦ガス床暖房対応商品)
- ホルムアルデヒド F☆☆☆☆規格同等品

バンブーフローリング
無垢フロー



ライト色 ミディアム色 ダーク色



■ダイヤバンブーフローリング規格・品質
品名：ダイヤバンブーフローリング
サイズ：90.9×909×12(15)mm
品質：ホルムアルデヒドF☆☆☆☆規格
カラー：ライト・ミディアム・ダーク
塗装：UVウレタン塗装(3分艶あり)



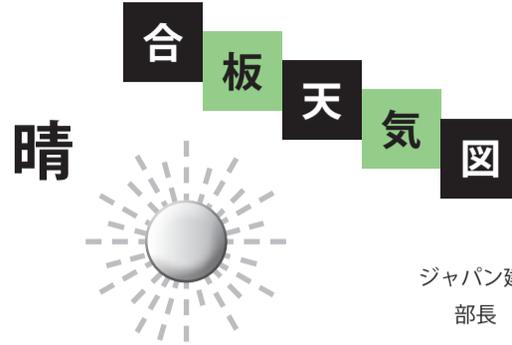
ジャパン建材株式会社
石巻出張所
2012年9月18日営業開始

東日本大震災からの復興を
地域により密着したバックアップ体制で
住宅建材流通の面からサポートして参ります。

2012年9月14日晴天のもと、平素よりお世話になっております仙台ジャパン建材会中川会長はじめ地元の販売店様にお越しいただき、石巻出張所開所式を執り行い、新しい営業拠点を披露しました。9月18日より佐藤所長以下所員3名力を合わせ、より迅速に皆様のご要望に応えられるよう全力で取組んで参ります。



ジャパン建材(株) 石巻出張所 所長 佐藤 昭
〒981-0501 宮城県東松島市赤井字川前一 22-10
TEL: 0225-98-5621 / FAX: 0225-84-2151



ジャパン建材 合板部
部長 内藤 裕之

国内合板

7月の国内合板生産量は20.3万㎡で、そのうち針葉樹合板の生産量は18.6万㎡、出荷量は直需向けの好調な出荷と底値と判断した流通筋が買い増したことで、21.5万㎡となった。これは、2011年1月以来の高水準である。

6月に東西での生産調整の減産の発表はあったにもかかわらず、生産量においてはさほど減っておらずメーカーが本当に減産しているのか気になるころではあるが、今後の需要増が見込めることと、在荷量も20万㎡を切り適正水準になり、地域によっては即納の出来ないアイテムもでてきている。今後は玉の確保が重要になってくる。

国内合板、輸入合板共に川上と川下の温度差はあるもののそれも徐々に埋まり、需要増と価格の上昇ともあいまって活気のある相場展開になると予想できる。

輸入合板

輸入合板は、前月同様に在庫調整の動きが更に進み、12mm品を中心に動き良好。7月の入荷量が30.4万㎡と前年からは減少するも前月からは増加。

中国・インドネシアからの入荷は微増であるが、これまで入荷調整されていたフローアースを中心としたマレーシアからの入荷が一気に増加したことが影響した。

現地は今後最低賃金法により労賃引き上げによるコスト上昇と入荷量の減少もあり、大手メーカーは強気姿勢を当分崩さないと思われる。

JK お客様
センター

お聞かせ下さい。お客様の声！
フリーダイヤル 0120 (563) 568 受付時間：平日 8:30～17:20
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休暇は、受付を休ませていただきます。

企画
発行

ジャパン建材株式会社 JK 情報センター

〒136-8405 東京都江東区新木場 1-7-22
TEL:03-5534-3711 (代) FAX:03-5534-3855 (代)
URL:http://www.jkenzai.co.jp